



# 香美町 農委だより

No. 38

令和5年3月23日発行

発行 香美町農業委員会  
編集 香美町農業委員会  
情報部会

兵庫県美方郡香美町香住区香住870-1  
電話 0796-36-0846



## 令和4年度 香美町おいしいお米コンテスト ～笑い飯哲夫と旨い飯～

今年度は、11月20日に香住区中央公民館・香住文化会館にて、「令和4年度香美町おいしいお米コンテスト～笑い飯哲夫と旨い飯～」が行われました。

今年度町内からの応募点数は118点あり、1次審査(食味値)、2次審査(味度値)、最終審査(官能食味)が厳正に行われ、7名の方が見事表彰されました。おめでとうございます。皆さんの日々の努力の賜物だと思います。

### 表彰者

- ◎最優秀賞(香美町長賞) ..... 白岩 寧さん(村岡区福岡)
- ◎優秀賞(但馬県民局賞) ..... 田中 敬二さん(村岡区板仕野)
- ◎優秀賞(たじま農業協同組合賞) ..... 村尾 百合子さん(小代区貫田)
- ◎優良賞(香美町議会議長賞) ..... 岡田 久志さん(村岡区板仕野)
- ◎優良賞(香美町農業委員会長賞) ..... (香住区) 見塚 修さん(香住区三川)  
..... (村岡区) 岡田 好恵さん(村岡区板仕野)  
..... (小代区) 田中 憲二さん(小代区神水)

(写真) 前列左から：田中憲二さん、岡田久志さん、田中敬二さん、白岩 寧さん、村尾百合子さん、見塚 修さん

## 本号の主な記事

- ◆頑張っている農家の皆さんの声 ..... P2～3
- ◆シリーズその⑧ 我が村の自慢 ..... P6
- ◆農業委員活動報告 ..... P4
- ◆編集後記 ..... P6





# 頑張っている 農家の皆さんの声

## 「農家見習い」

香住区下岡  
福井 功一さん

私は、まだ農家ではありません。2年後に就農する予定の修行中の農家見習いです。

令和4年の春から香美町地域おこし協力隊として、引き継ぐ予定の間室のなし園とその隣にある新設したなし園を管理させて頂いています。

そして、引き継ぐ予定のなし園の園主さんが今の私の師匠になります。

私は地域おこし協力隊になる前、山口県にある観光農園でなしづくりの修行を2年間してきました。

雨の日も、雪の日も頑張ってきましたが、園主さんの下でやってみると、園主さんの後ろについていき、見よう見まねでやっていくことしかできませんでした。2年間、勉強したことを土台にしても、まだまだ知らないことがいっぱい、これでは独立なんて先の先だと思いました。

なしの栽培は1年に1度しかできないので、この地域おこし協力隊で勉強した1年間の無駄にならないようにしっかりと頭に入れて、次こそ付いていけるように

頑張っていきたいと思っています。



## 「米作り」

小代区石寺  
細川 龍也さん

私が米作りと出会ったのは小学生の頃です。と言っても、父の手伝いをするだけでした。昔は春に耕運機で田の中を歩き、秋はバインダーで刈った後に稲木にかける作業がしんどくてとても米作りが嫌でした。

しかし、父が年齢を重ね米を作れなくなり、自分が全て作るようになってからは父に教わり、近くの叔父さんや同級生にも色々聞きながら米作りをしました。それから10数年…。春に

は田植えをし、何度もあぜの草刈りをし、秋には稲刈り、そして新米が取れ、兄弟や親戚、友達に送り「たっちゃんのお米はおいしい」と言って貰えるのがとても心地よく嬉しいです。

J.Aにも出荷をしています。個人宅にも少し売っています。最近では役場が行っている「お米コンテスト」にも参加させて頂き、毎年Sランク、以上を頂いています。

昨年は一次を突破し、二次に進み、Sランクを頂きました。

米作りが益々楽しくなり、昨年は長年使っていたトラクターを新車にし、今年はコンバインを新車にして、さらに田んぼを1反増やしました。

来年も少しですが作付け



面積を増やす予定にしています。益々米作りが辞められなくなりそうです。これからも米作りを頑張ります。

## 「いつから10年」

村岡区福岡  
白岩 寧さん

還暦を迎え思うこと。天命は必然。

テレビ、新聞等で「都市計画、道路拡張工事等で長期計画30年、40年後の完成を目指す」というようなニュースを見たり、聞いたりとときに、むなしささえ感じてしまふ年回りになってきた実感とここから何をどうして生きていくのか考えてしまいます。

私と農業を思い出してみると、幼少のころから専業で農業を営んでいた親父に連れられ、日本専売公社時代のことで、葉タバコを栽培し夏休み期間中には毎年、農作業が最盛期で朝4時頃、薄暗い時間から畑で手伝いをしていた記憶があります。

農業の印象は、私の中では大嫌いで、まさか60歳を過ぎてから専業で水稻農業に足を踏み入れるとは思っていませんでした。

町役場農林水産課から助言をもらいながら令和3年度、農林業振興対策事業補助金により大規模な水路変更と修繕工事が実現したこと。

香美町認定農業者としても、機械導入に伴う農業近代化施設整備事業補助金を活用させて頂いたとき、自己資金の負担軽減になり大変うれしく感謝しております。

これはまさに三位一体の成せる技、自人の力、協人の力、公人の力の点と点が線となり形になった瞬間、今後も、農業経営を維持していくためにも、農業環境協力体制を構築できたらと思います。

私の座右の銘は「がんばれ・負けるな・力の限り」ここから10年、体力、気力を鼓舞しながら農業に真剣に取り組んでみたいと思います。



今現在も農業が好きかと自問自答してみますが、よくわかりません。

現在の耕作している場所と面積は、村岡区福岡の八幡山公園西側に1.6ha、町道大野福岡線直線約1kmの周辺に3haの合計4.6haを耕作しています。

土地柄、中山間地域の1圃場平均10aで44圃場、足を踏み入れた限り、残りの人生を専業農家として、生まれ育った福岡の地域と共存していくことを改めて決心したところです。

一言で「おいしい米」とはどんな米？先人（親父を含め）からこの米はおいしいと言われて育ってきましたが、知名度が今一つな点に気になる、どのようにしてこのことを立証したらいいのか、インターネットでおいしい米を検索してみると、「食味値」というワードができました。

おいしさを数値で表すことに興味があると同時に今の実力と今後の対策も数値により考えることができれば、おいしい米の裏付けになり、それが自信と販路の拡大に繋がると感じました。ただこれまで田植え、稲刈りといった農繁期だけ手伝いをしていただけなので栽培に関しては素人同然、耕作しているすべての圃場また区画での食味値はどんな感じだろう？令和2年か

ら民間業者に依頼してデータを取りまとめてみました。結果は、平均82点で全体として考えれば確かに悪くはない数値ですが、食味コンテストでは、基本85点以上が二次へと進める数値、ここからどうすれば数値を上げるかができるのかいろいろ考えている中、令和4年2月に、令和3年国際食味コンテストで金賞を受賞されている、とろかわの恋の生産者田中敬二さんとお話させてもらえる機会があり、日頃、栽培していくうえで疑問に思っていることなどQ&Aで解答してもらい、栽培に関しても数々のアドバイスをいただきました。

本年度は、このアドバイザーを忠実に栽培することを心掛け、特に6月・7月の出穂までの育成データと観察を実施した結果、令和4年度香美町おいしい米コンテストで香美町長賞を受賞することができました。

新型コロナウイルスが次々と変異を重ねまだまだ終息する気配がない、香美町でも苦労されている方々がおられる中、手放しで喜ぶことはできませんが、福岡の圃場からおいしい米が世に出ていく第一歩となること、私が農業を継続する活力となると思っています。令和4年2月世界中を震撼させた、ロシア・ウクラ

イナ問題、輸入で影響を受ける燃料、肥料等さまざまな原材料の高騰、農業経営をしていくことが死活問題になりかねない状況、販売ルートを含め自分自身の立ち位置が不透明で、将来に對する不安しかありませんでした。が来年度、今回のデータを参考にして食味値が85以上の高い数値が全体の圃場で出るようであれば、自信へと繋がっていくことを願いながら、農業に取り組んでいきたいと思っています。

目標は基本的に「地産地消」地域をベースにして、また、平行して他府県への販売ルートの構築を目指したいと考えています。ここから10年の計画で最も重要な2年後、中山間第5期終了の令和6年度末までに経営を軌道に乗せることができれば1年1年が勝負だと考えます。

災害で使われている言葉に「自助・協助・公助」があります。このまま引用するのは不適切だと考えますので、オリジナルで「自人の力・協人の力・公人の力」と変換して過去2年間の思い起こしてみます。

## 「自人の力」

個人がそれぞれの問題定義と解決の糸口を探し、このことに向けて努力するこ

とを念頭に行動に移していくことが大切なことで、問題を先送りしていくだけなら、年月が無情に過ぎ、振り返ってみると何の改善もなく、達成感もないまま気が付けば耕作放棄地が増えていくような事態だけは避けたい。

私個人としても、もがき苦しみながらも信頼される品質と収入安定を目指し向上心を持ち続けていきたいと思っています。

## 「協人の力」

中山間は大野地区が44圃地、大野福岡線周辺が45圃地、八幡山公園西側が46圃地と分類されており、46圃地は単独の井手と水路を維持しているため、水路等の修繕には、構成員の承諾で工事に着工できたが、45圃地の水路変更には、井手を管理する44圃地の理解と協力が必要でした。

令和3年度、44圃地と45圃地の協議会を実施し水路の老朽化、将来に向けての農業への取り組みに関して議論を重ね、快く井手を共有させてもらえんことを了承してもらい、大規模な水路工事着工から工事完成へと構想が実現されました。

## 「公人の力」

一番の課題であった老朽化した水路の問題等、大きな修繕費がかかる中、香美



## 令和5年度 香美町農作業受委託標準料金

この料金はあくまでも令和5年度の標準であり、当事者双方で協議のうえ決定してください。  
また、機械の運搬（回送料）、溝切り作業、色彩選別作業等、掲載されていない農作業についても双方協議のうえ決定してください。

単位：円（消費税込）

作業種目	単 位	種 別	標準料金			備 考
			整備田	30a区画	未整備田	
農 作 業	一日当たり 8時間		8,400			技術作業、機械持込の場合は別料金
ディスクローター	10a当たり		7,300	6,300	7,300	
耕 耘	10a当たり	1回目	7,300	6,800	8,400	
		2回目	5,300	5,300	6,300	
代 か き	10a当たり	1回耕耘後	11,600	10,500	11,600	荒かき・代かきを同時にする場合
		2回耕耘後	8,900	8,400	8,900	
荒 か き	10a当たり		6,300	6,300	6,800	
荒かき後の代かき	10a当たり		7,900	7,900	8,400	
機 械 田 植 え	10a当たり		9,400			
機 械 田 植 え （側条施肥機）	10a当たり		10,400			薬剤散布を含む。ただし、薬剤散布をしない場合も同額
刈 （バインダー）	10a当たり		9,400			倒伏、湿田の場合は3～5割増。すみ刈りは含まない。結束紐は受託者負担
刈 （コンバイン）	10a当たり		23,300	22,300	23,300	倒伏、湿田の場合は3～5割増。すみ刈りは含まない。籾の運搬料は10a当たり3,100円（距離により増減）
脱 穀 （ハーベスター）	一日当たり 8時間		15,800			
機 械 畦 ぬ り	1m当たり		110			
畦 切 り （片バイド）	1m当たり		70			
乾 燥	10a当たり		13,200			運搬などは委託者負担（10a未満も同額）
籾 摺 り	30kg当たり		540			運搬などは委託者負担
農 薬 散 布	10a当たり		2,100			農薬代は含まない
堆 肥 の 散 布	10a当たり		3,100			堆肥又は土壌改良剤の散布。堆肥等代は含まない
畑 耕 耘	10a当たり		8,100			

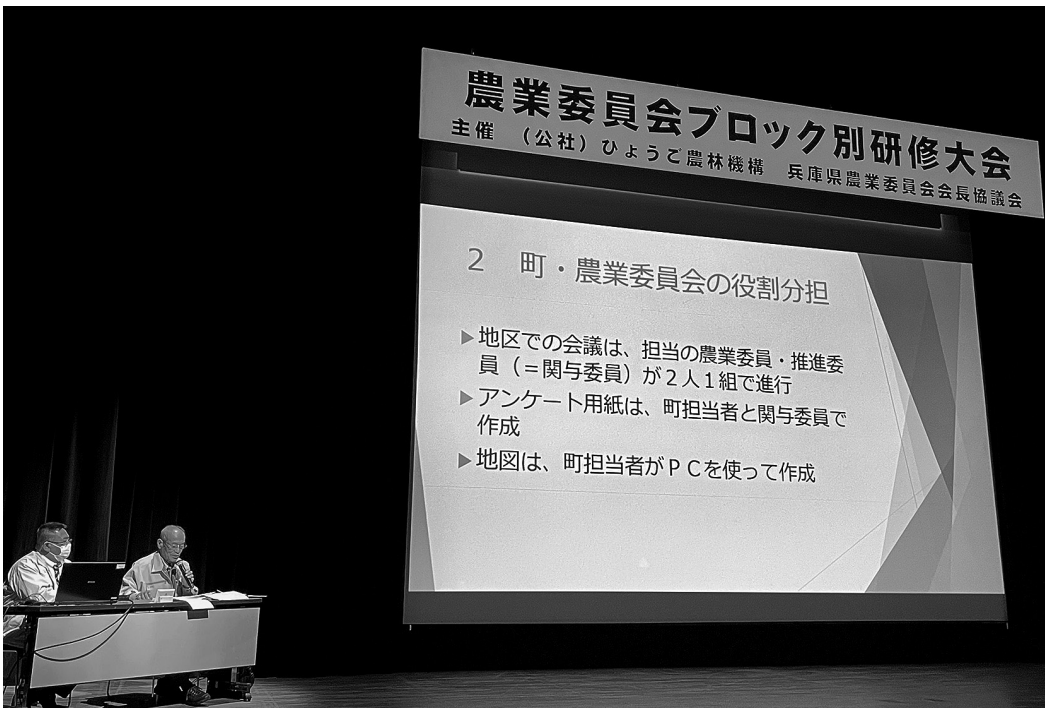
## 農業委員活動報告

## 「農業委員会ブロック別研修大会」

農業委員 会長職務代理者 中村 成一

令和4年度農業委員会ブロック別研修大会が朝来市でありました。  
研修では、①「地域計画（人・農地プラン）」の策定について、②農業委員会の取組と農地バンク事業について、③人・農地プラン作成の取組事例について、と題し、それぞれ発表がありました。  
①「地域計画（人・農地プラン）」の策定について（県農業経営課より）  
これまでの地域での話し合いにより、農地プランを作成、実行してきましたが、令和5年4月より人・農地プランを法定化し、目指すべき将来の農地利用のすがたを明確化する「地域計画」を定め、農地バンクを活用し、今後は、高齢化や人口減少で農業者減少や耕作放棄が拡大するので、農地の集約等に向けた「地域計画」を取り組み進めていく。  
②農業委員会の取組と農地バンク事業について（ひょうご農林機構より）  
農業委員・最適化推進委員が中心となって、それぞれの地域で話し合いを進め、将来にあたって地域の農地を中間管理機構（農地バンク）に利用し、地域計画が策定できるよう取り組みを実践する。  
③人・農地プラン作成の取組事例について（香美町農業委員会 中村成一会長職務代理者より）  
令和元年度香住区大野地区における人・農地プランについて、最適化推進

委員として実践したことを発表しました。  
大野地区では、矢田川からの用水改修工事（補助事業採択）のために、人・農地プランの実質化が必要でした。令和元年7月、地区に、町担当者・農業委員・推進委員が出向き、地区役員へ第1回目プランの策定の説明をいたしました。8月には、地区住民を対象にプラン策定の進め方、アンケート内容の説明を行いました。9、10月でアンケートの結果を地図に反映、誰が農地を守るか、どのように集約・集積するか、農地バンク事業を活用するか等協議し、11月に今後の農地利用について各戸から回答をいただき、多面的機能直接支払交付金事業の取り組み、農地バンク事業の活用を決定。地区の若い人からは地区の農地は自分たちで守ると言っていた。12月集落代表者と関係委員2人がプランに署名する。以上一連のことを発表する。  
今回の研修大会で、農業者の減少の加速化が見込まれる中、地域の農地をどう守るかということを検討することが喫緊の課題だと感じました。  
特に、法定化された「地域計画」の策定には、農業委員会の働きが必要不可欠であり、今回の研修で学んだことを、今後香美町の農業委員として、「魅力ある地域づくり」「魅力ある農業」に活かし、頑張っていきたいと思っています。



# 我が村の 自慢

シリーズ  
その18



## 「小代区新屋を、花で活気づける」

我が村は、小代区の最南端、通称誰もが言っている「小代の奥」です。

此の奥の村にも高齢世帯と空き家の数は増え続けています。

特に珍しい状況ではありませんが、それに伴い更地があちこちと見られるようになりました。「花を植えて村を美しく活気づける会」というボランティアグループを設立して4年、現在25名の会員で村の中央部の更地に春先はチューリップの花、7月頃から10月中旬まで百日草の花をはじめ、数種類の花が約500㎡の空き地に咲くようになりました。又、町道沿いにも50m程手掛けています。



百日草の種子は、2018年に兵庫県政150周年記念品として、百日草種子入りの紙袋が小代地域局の窓口にあり、5～6袋いただき、苗を育て花を咲かせ種は自採りで咲かせ続けて来ました。

自慢とするのは、会員が自発的に花植え・水やりに参加してくれ、見事に春から秋まで花を咲かせているところです。

ここ数年、村内に活気が戻り村が明るくなって来ようです。

新屋花グループ代表 田野 眞吉

## 編集後記

近年は地球温暖化による想定外の猛暑・大雨・大型台風等の異常気象の年が続いています。

昨年水稲開花時期に最低気温の高い日が続き、乳白粒が多かったように思います。

乳白粒を減らす方法で、今年見たり聞いたりしたこと

① 分けつ期に必要な以上の大株にしない。

② 田んぼの温度を下げるため水のかけ流し等水管理。

③ 穂肥の減量、施用延期を検討。

を参考にし、気象に沿った作付けをしてみようと思います。

10数年農業をしていますが毎年1年生です。情報交換しながら香美町のおいしいお米を作ってくださいましょう!!

今回の『農委だより』も「頑張っている農家の皆さん」へご寄稿いただいた皆さまや情報部会員のご協力によりスムーズに発行することが出来ました。

ありがとうございました。

香美町農業委員会

情報部会長 門垣 日出男